

平成27年度 上田市立菅平小・中学校 学校関係者評価シート

学校教育目標	めざす子どもの姿	今年度の重点目標
郷土を拓く大地の教育	①他者への感謝の気持ちを持ち続ける子ども ②自分や友達の良さを認め合える子ども ③自ら考え課題を解決しようとする子ども ④困難にくじけず挑戦する子ども ⑤郷土に誇りを持ち、郷土を愛する子ども	(1) 互いの良さを認め合い、前向きに取り組む集団生活をめざす。 (2) 自ら進んで学習する子どもの育成をめざす。 (3) 菅平の産業に学び、郷土に生きる人材を育てる。

領域	対象	【評価項目】及び【評価の観点】	ご意見	評価
教育活動	生徒指導	【発見と啓発】 相手の良さに気づき、発信しているか。	児童会・生徒会の活動としての位置づけは良い。先生方だけでなく、地域の皆さんにも広げて行きたい活動。地域のお年寄りの方々は、「周りが働いているのに、自分らはウォーキングなどをして過ごしていて申し訳ない…」といった地域の声に対して、「子ども達の様子を見て頂くだけでもありがたい。」と伝えると大変喜んでい	B
		【相手意識のある挨拶】 コミュニケーション能力を高めているか。		A
	学習活動	【学習の約束】 学習習慣の定着は図られているか。	学校評議員会として、全体の様子や、個々の部分では何とも言いにくいですが、中学校三年生の進路を考えた時に、高い学力維持してもらっていることがわかり、とてもありがたいことと感じている。	A
		【学力定着】 小・中学校の先生が連携して授業を行っているか。		A
		【授業改善】 分かりやすい授業になっているか。		A
	キャリア教育	【地域との交流】 この地での生活に喜びを感じているか。	地域の人材の多くはまだ現役である。(信州型コミュニティースクール運営委員会での発言より)しかし、中には一線から離れているお年寄りもいる。繁忙期に健康のために出歩いていることでも後ろめたさを感じておられるようだ。評議員からは「地域の見回りや、児童生徒への声掛け(あいさつ)などでも十分に貢献しています。」と伝えてある。このような事も、児童生徒に伝え、「元気のキャッチボール」ができるとよい。	B
【地域を知る】 地域の産業を理解しているか。		B		
学校運営	学校づくり	【めざす保護者像・教師像】 子どもの良さを見つけ、励ます教師・保護者	学校と保護者の関係には、これといった問題点は感じられない。これまでの方向性を踏襲していくと良いと思われる。 (信州型コミュニティースクール運営委員会での発言より)信州型コミュニティースクールが本格的に始動する予定の来年度に向けては、「ボランティア」という言葉による募集は、かえって地域の方の気持ちを遠ざけてしまいがち。今までもかなりの形で学校に関わっている状況がある。それらを精査していくことでも十分かも知れない。	A
		【めざす保護者像・教師像】 優しく、厳しく子どもを導く教師・育む保護者		A
		【めざす保護者像・教師像】 楽しく分かる授業を創造する教師・期待する保護者		A
		【めざす保護者像・教師像】 地域と連携する教師・学校と連携する保護者		A
その他		【楽しい学校生活】	(この項目に関するご意見は特には頂いていませんが、継続して、子どもにとって楽しい学校であることを願われていることが、懇談から感じられました。)	A

評価の欄は、【A…そう思う(かなりある)】【B…ややそう思う(時々ある)】【C…ややそうではない(あまりない)】【D…そうではない(全くない)】で評価